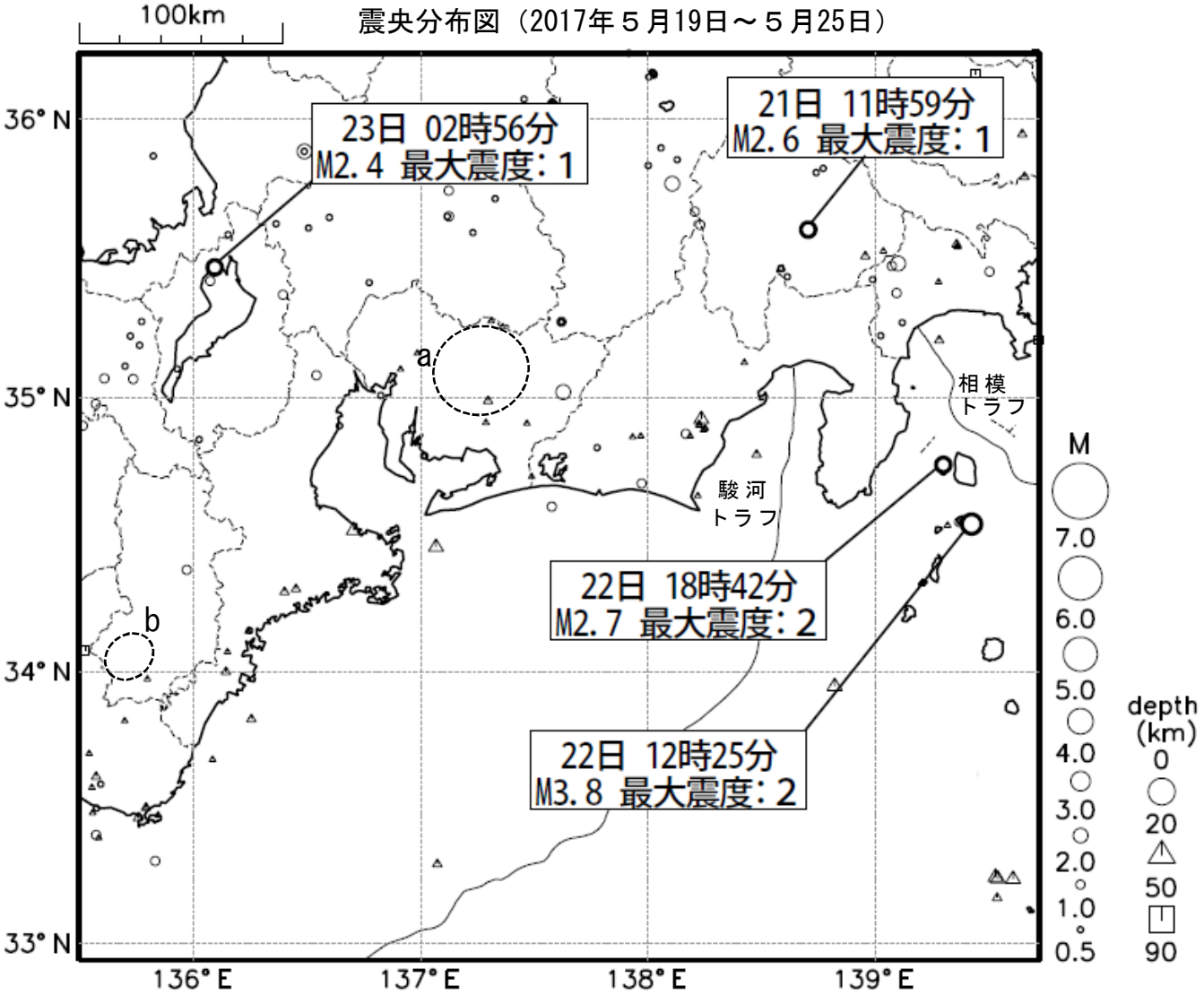
平成29年５月26日
気象庁地震火山部

東海地域の週間地震活動概況 No.21

＊震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（2017年５月19日～５月25日）



“震度１以上を観測した地震”、“東海地域でM3.0以上、その他の地域でM4.0以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している（M≧0.5、震源の深さ０～90km）。

［概 況］

特に目立った活動はなかった。なお、平成25年はじめ頃から浜名湖付近のプレート境界で発生している「長期的ゆっくりすべり」は、現在は停滞している*。

【東海地域】

［地震活動］

・特に目立った活動はなかった。

［深部低周波地震（微動）活動］

・21日から23日にかけて愛知県（領域a）を震央とする深部低周波地震（微動）を観測した。

【その他の地域】

・23日から24日にかけて奈良県（領域b）を震央とする深部低周波地震（微動）を観測した。

※上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみ表示している。このため、震源決定精度が高くない深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合(IRIS) の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

*平成29年４月地震防災対策強化地域判定会会長会見資料（http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/gaikyo/hantei20170424/mate01.pdf）参照